

血液内科・感染症リウマチ内科 初期臨床研修合同プログラム(選択科)

研修責任者 平野功・志智大介

研修期間 4 週～

I. 対象となる疾患・病態

血液疾患やリウマチ性疾患は特殊科と思われがちですが、プライマリーケアにおいて、発熱、血算異常や、リンパ節腫脹、多関節痛などのプロブレムの解決を余儀なくされるケースは多く、診断へのアプローチは極めて総合内科的です。また感染症は将来いずれの専門領域に行っても遭遇し対処していかないといけないものです。感染症やリウマチ、膠原病などは全身性に各臓器に多彩な問題を起こし、血液疾患や HIV 感染者などの免疫不全者は多彩な日和見感染症を発生させます。丁寧な問診と診察で、全身性徴候に対応しないといけません。また、高齢化に伴う悪性腫瘍罹患者の増加により、悪性 リンパ腫や白血病、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などに一般診療で遭遇することも稀ではありません。経験すべき主な症状：発熱、発疹、関節症状、筋症状、血算異常（貧血、白血球異常、血小板減少）、リンパ節腫大、出血傾向

II. 研修到達目標

一般目標(GIO ;General Instruction Objective)

1. 内科一般に加え、血液疾患・感染症・リウマチ性疾患の病態、診断、治療に関する知識と経験、技能を習得すると同時に全人的医療を実践する
2. 日常診療で遭遇しうる各科分野での感染症診療の基本を理解し抗菌薬などの治療をある程度実践できる
3. プライマリーケアにおける血算データ異常やリンパ節腫脹、出血傾向の鑑別を習得する
4. プライマリーケア場面でも遭遇する機会の多い、関節リウマチやリウマチ性疾患、多発関節痛といった症候を理解して初期評価し、必要時には専門家へ相談することができる
5. 免疫不全時の感染症治療、化学療法、輸血療法などの知識、技術を習得する
6. 院内感染対策への理解と実践

行動目標(SBOs ;Structural Behavior Objectives)

1. 血液疾患初診患者の診察を行い、鑑別診断を列挙する（知識）
2. 専門医指導のもと、骨髄穿刺などの基本的手技を経験する（技能）
3. 化学療法の適応・合併症を理解し、専門医の指導のもとに予防対策をたて、インフォームドコンセントを実施できる（知識、解釈）

4. 代表的な各種感染症各疾患を経験し、診断から治療に至るまでの流れを覚える（知識）
5. 免疫不全時の感染症を理解し、専門医の指導のもと、予防・診断・治療を行うことができる（知識、解釈）
6. 輸血療法の適応、合併症を理解し、専門医の指導のもと、インフォームドコンセントを実施できる（知識、解釈）
7. 造血幹細胞移植の基本理念を理解する（知識）
8. 頻用される抗菌薬、抗微生物薬の特徴を理解し、臨床的効果をあげ、副作用を回避し、耐性菌をなるべく増やさないように処方管理することができる（知識、解釈）
9. 細菌微生物学的検査の主な手法について勉強し、グラム染色やその他迅速検査法について自ら実践でき、解釈もできる（知識、解釈、技能）
10. 各種細菌や病原微生物について主なものについて勉強し、臨床的な特徴、耐性菌の知識なども得る（知識）
11. リウマチ・膠原病領域のみならず各分野で使用されるステロイドホルモン剤や各種免疫抑制剤の特性や使用前、使用中の注意点、対処法について症例を経験しながら理解する（知識、解釈）
12. 不明熱、多発痛、関節炎、などの症候について、感染症・膠原病領域で必要な知識も踏まえながら検査診断を進めていくことができるようになる（知識、解釈、問題解決）
13. 医療従事者として必要な感染制御に関する知識を得、臨床現場で実践することができる（知識、態度）
14. 症例検討会に参加し、症例を提示する（解釈、技能）

Ⅲ. 方略(研修場所：外来、病棟、救急外来、臨床検査室、画像診断室、病棟カンファレンス室)

1. 研修指導医とともに、主に病棟患者を受け持ってその診断、治療を行う。
2. 指導医との病棟回診およびカンファレンスを行い、収集した基礎データ（病歴、身体所見、過去の医療機関の資料、スクリーニング検査）が充分であるか確認し、患者の病態を検討し、治療方針を決める。
3. 病棟カンファレンス：医師、看護師、薬剤師、栄養士など全体で症例ごとにカンファレンスを行い検討会を行う。

外来診療の研修：主に 2 年目研修医。多彩な愁訴に対応し最終判断をつけ、治療を開始し再診で経過をみるまで経験する。医療面接、病歴聴取、身体診察、検査計画立案、診療録記載、説明と同意の取得、他科コンサルテーションなど多くのスキルを身につける。

4. 患者の各種検査や、他科受診には原則として立ち会う。骨髓穿刺液標本やグラム染色標本をはじめ検査標本はその日のうちに観察し、指導医、臨床検査技師とともに討議する。
5. 感染予防制御の基本、抗菌薬適性使用、グラム染色など細菌検査、等を適時に指導するので実践する。

学会活動

日本内科学会、日本血液学会、日本リウマチ学会、日本感染症学会等、総会、地方会での演題発表など。

評価

指導医により、実地診療の場において評価を行う。

週間スケジュール

血液内科： 火曜日午前 10 時 30 分～ 症例カンファレンス
金曜日午後 2 時 15 分～ 病棟カンファレンス、終了後に病棟総回診
外来研修 随時
骨髓所見光顕 骨髓検査施行後随時

感染症・リウマチ内科

外来研修 随時
福間先生（膠原病外来） 不定期 木曜日午後
抗菌薬適正使用チェック・ICT チームラウンド 随時

2016 年 4 月作成

2017 年 4 月改訂

2019 年 10 月改訂

2020 年 4 月改訂